

湧別の子どもを伸ばす 家庭学習の手引き



～自ら学び考え、進んで伝え合う子どもを育てるために～

「自分にあった学習方法を見つけよう!」

家庭学習はリラックスしながら学習を進めることができる点が最大のメリットです。一方、ゲームなどの誘惑が多いため集中が続かないということもあります。メリハリをつけながら、いかに集中が保てるかという点が鍵となります。

皆さんのこれからの人生の可能性が、学習をすることで大きく広がってきます。特に、後期課程の学習の先には、進路選択という大きな目標があります。人はそれぞれに、個性があります。だからこそ、後期課程で9教科の学習をすることにより、自分のもっているいろいろな強みを知ることが大切なのです。後期課程を卒業するときに自分にあった道を見つけるために勉強をするのです。学習すべき時にしっかり学習し、自分を知り、自分の道を見つけてください。

最後に、後期課程での学習方法には、いろいろなやり方がありますが、これが一番いい方法だというものはありません。人それぞれ違うので、本書を参考にしながら、自分に合った家庭学習の方法を見つけてください。

2025年 4月

湧別町立ゆうべつ学園

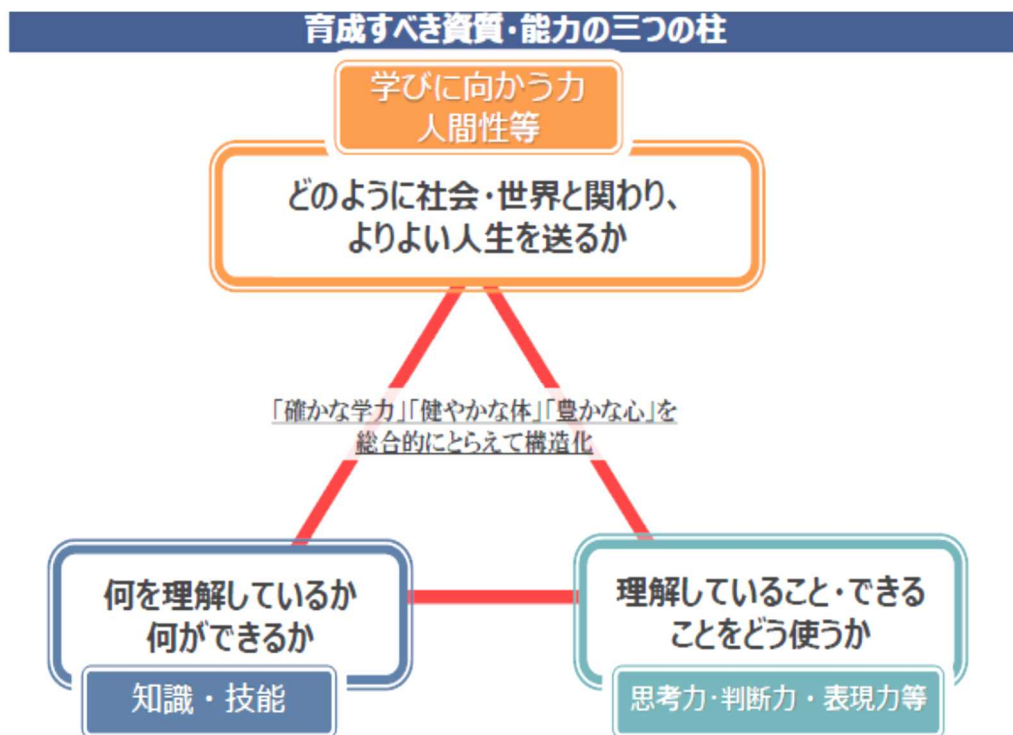
校長 若松 征一

年

番 名前

はじめに～今、求められていること～

今、皆さんに“求められている力”は社会の変化とともに変わってきています。これからの社会を創り出していく皆さんが、社会や世界に向き合い関わり合い、自分の人生を切り拓いていくために求められる資質・能力を知っておきましょう。



知識・技能 「何を知っているか、何ができるか」

○各教科等に関する個別の基礎的・基本的な知識や技能の習得だけではなく、既存の知識と関連付けたり組み合わせたりすることで育まれる、社会の様々な場面で生きて働く **知識・技能**

思考力・判断力・表現力等 「理解していること・できることをどう使うか」

○問題を発見し、その解決に必要な情報を収集・蓄積するとともに、自分の持ちうる知能・技能をフル活用しながら問題を解決へ導くための **思考**

○必要な情報を取捨選択し、問題解決への方向性を定め、結論を決定するための **判断力**

○自分の意思・意見をどんな相手・状況であっても伝えるための **表現力**

学びに向き合う力・人間性 「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」

○受動的にただ言われたことを学ぶのではなく、主体的に学習に取り組む態度も含めた **学ぶ力**

○グローバル化によって、より多様化する世界を尊重し、様々な人々と互いの良さを引き出しながら **共同する力**、持続可能な社会づくりに貢献する力、リーダーシップやチームワーク、豊かな感性や他者への思いやりの心などを持ち合わせた **人間性**

1. 学習の決まり

- 学習する時間帯やタイミングを決めましょう。
- 机の上には学習に関係するものだけを置きましょう。
(スマホが目に入るところにあるだけでも集中力は落ちるそうです)
- スマホやテレビ、Youtube などを見ながら学習する「ながら勉強」をしないようにしましょう。
- 今、学習している授業の中で暗記すべき問題は、少しずつでも必ず復習しましょう。
- わかっていることばかり学習するのではなく、苦手なところにもどんどん挑戦するようにしましょう。
- ドリルや問題集は、必ず答え合わせをして、間違えたところをやり直し、わかるまで繰り返し練習しましょう。
- 分からなかったところは、お家の人や先生、理解できている友達に聞くなどして、必ず理解して進めましょう。

2. 学習の時間

☆まず、「学年×10分+10分」
から始めましょう！！

※『+10分』は、家で読書をする時の目安です。

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
目標時間	20分以上	30分以上	40分以上	50分以上	60分以上	70分以上	80分以上	90分以上	100分以上

私の学習時間は

_____ 分以上
_____ 時 _____ 分から始めます

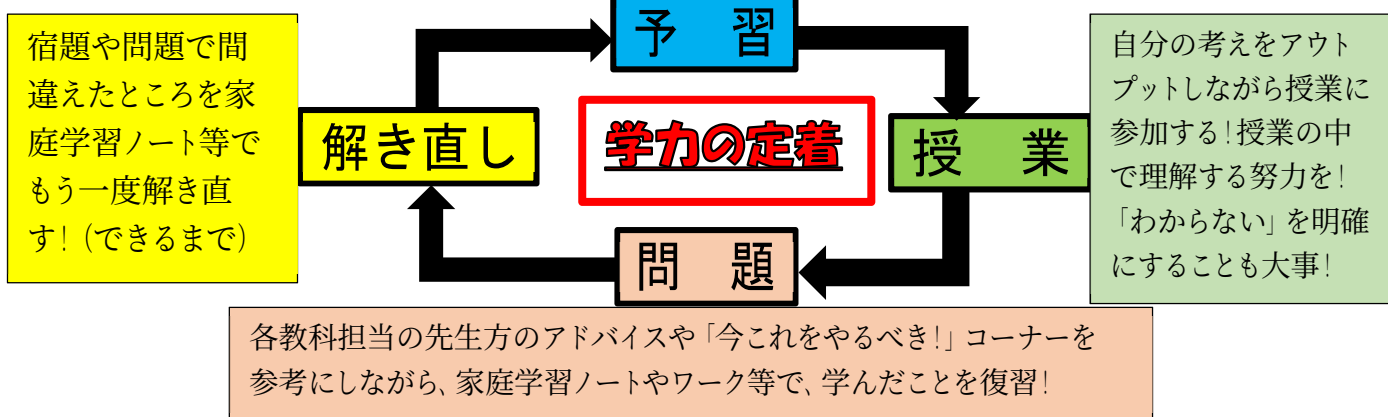
※曜日ごとに学習を始める時刻を決めましょう。(部活がない日は○分、休日は○分など)

※見たいテレビや部活動の時間のことも考えて決めましょう。

3. 学習の流れ

自分の学び方の確立

次の日の授業で進める範囲の教科書を一度読むだけでも、定着具合が変化します。さらに取り組める人は、教科書の問題に挑戦!



4. 学習の内容

そもそも家で学習する意味とは・・・

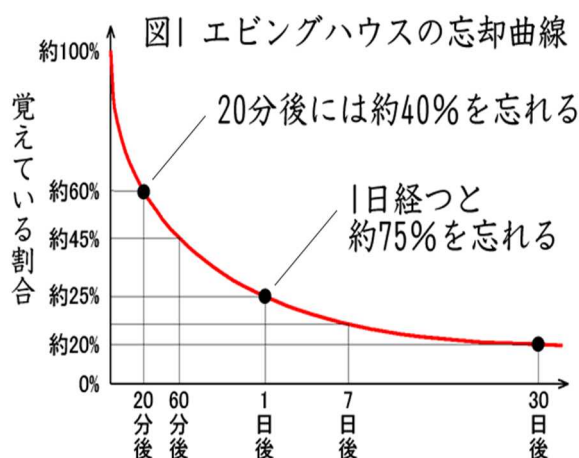
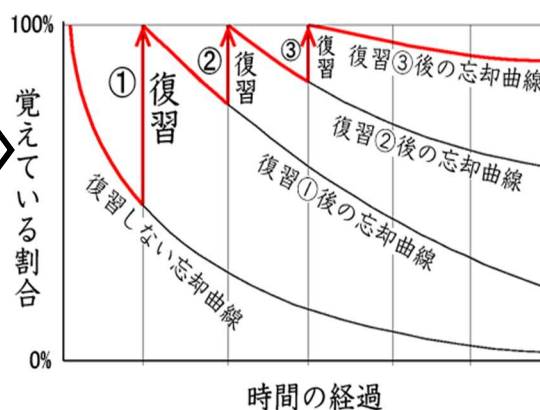


図2 エビングハウスの忘却曲線



エビングハウスの研究成果「忘却曲線」という図から、驚くべきことが分かります。それは、**授業で100%学んだことも、20分経過すると約40%忘れてしまう**ということです。さらに**1日経つと約75%を忘れてしまう**ことが明らかとなっています。つまり、家庭学習を行わないと、学力がどんどん低下していくということです。

しかし、家庭学習で復習を何度も繰り返すと、この忘却曲線が図2のように変化します。例えば忘れてしまったとしても、100%に戻りやすくなっていきます。

以上のデータが、家で学習することが大切であることを示しています。また、高校受験は7年生の時から始まっています。コツコツと家で学習する習慣を大切にしましょう。

各学年の家庭学習の目標

7年生	勉強習慣を確立させ、授業の復習を日常的にできるようになる。(習慣化&授業の理解度重視！)
8年生	自己の課題を分析し、解決に向けた努力を工夫して行えるようになる。(理解度の向上&自己調整！)
9年生	復習を覚えるまで、または理解するまで反復して行い、かつ各教科ごとに問題演習中心に取り組むことができるようになる。(目標達成に向けた努力の充実！)
⇒「今の自分に必要な学習を見極め、対策を講じて目標を達成させることができる！」	

★各教科のアドバイス★～参考にして自分に合う学習スタイルを見つけよう！～

国語	【基礎編】 - 授業で学習した新出漢字や語句、文法の習得を家庭学習で行う。(単元テスト対策として、コツコツ取り組む) - 各単元の終わりにワークの基本問題に取り組み、定着度を確認する。(やっておくべき範囲は授業内でお知らせするため、随時取り組んでおくこと。←やり残しがたまっていくと後々きつい。) - 教科書で学習した文学的文章や説明的文章を読み返し、内容の理解を深める。 →教科書の本文を読み返すことで、物語の面白さや疑問点が生まれます。そうした疑問点や物語の魅力をみんなで共有できたらと思っています。<u>家庭学習で自分なりに内容や主張をまとめるとよい。</u> 【応用編】 - ワークの「深める」問題を積極的に解いてみる。(わからない問題があれば気軽に聞きに来てください。「わからない」を「わかる」に変えられるように一緒に問題に取り組みます。) - 漢文や古文、文法など苦手になりやすい単元の対策プリントに取り組み、定着を図る。 - 習った語句や漢字を使って、短い文をノートに書き出す。(家庭学習用にノートを用意し、「毎週金曜日は、短文を作る日にする」といったように習慣化させるとより良い。) ※家庭学習の取り組み方でわからない人がいたら先生に相談すること！！授業の進度にあった学習を！
数学	【基礎編】 基本問題をやる。(例：ワークのA問題など) 〈解き方が分からない場合〉 分からない原因を見つけましょう。用語を理解していない、計算方法を理解していない、など様々な原因があります。その原因を自分で見つけることで分からない問題ができるようになります。数学は他の単元・前の学年の内容とのつながりが非常に強い教科なので、去年の内容を理解していないことも原因の一つです。まずは分からない原因を見つける。それを第一に取り組みましょう。 もし自分では何をしたらいいのか分からない場合は、先生に相談しましょう！ 【応用編】 学テの過去問に取り組む。難しい問題集を買って取り組んでみる。など
社会	知識の定着を目指す(どちらかという、テスト対策になります。) 中学校の定期テストは、小学校のテストと比べて、「範囲が広いこと」「問題文が長く、やや難しくなる」ことが違います。では、以下のように学習を進めていくとよいです。基本は同じ問題でも構いませんので、たくさん問題を解きましょう。 50点とりたい人・・・対策プリント、みなさんのもっているワークの範囲を一度だけでもよいので解きましょう。 80点とりたい人・・・50点とりたい人のやる内容を2回やりましょう。しっかりニュースをみておきましょう。 100点とりたい人・・・50点とりたい人のやる内容を3回やりましょう。また、教科書やノートを隅々までみておきましょう。しっかりニュースをみておきましょう。
理科	【基礎編】 - 予習より復習を大事にしましょう。最初は教科書・ノートを見るだけでもOKです。平日にその日の復習、土日で1週間分の復習をするとよい。 【応用編】 - 暗記は教科書の文章で覚える。まとめノートをつくるより反復して暗記しよう。 - ワークを繰り返しやって問題のパターンを知る。基礎問題も超大事です。
英語	【基礎編】 - 予習の段階で、新出単語や熟語(イディオム)の意味や品詞を調べて、本文の内容を事前に軽く読んでおこう。 - 授業中は、積極的に英語を聞いたり、話したりするようにします。英文を作ったり、英語で表現したりする時には、間違いを恐れず、意欲的にどんどん使ってみましょう。 - その日に習った事柄は、ワークなどを用いてしっかり復習し、学習した文法事項をマスターしておきましょう。間違ったり、解けなかったりした問題は、再度、解き直しをして理解度をアップさせましょう。 【応用編】 - デジタル教科書を用いて本文の英文を音声で聞き、リスニングの力を向上させたり、ワークの長文を読んだりして、内容や話の要点を把握する練習をすると、英語の力が向上します。

5. 家庭学習の参考にしよう

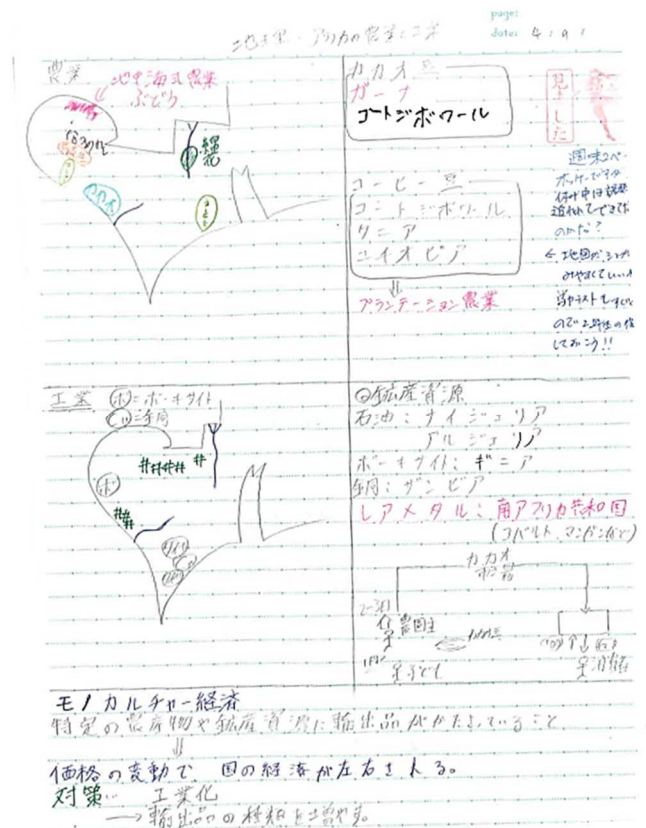
段階を踏んで、どんどんレベルアップできるようにしよう！

レベル	内容	参考
レベル1	授業を思い出ししながらノートを 写す(改めてまとめる)	①
レベル2	英単語や漢字などをひたすら 練習する	②
レベル3	1回の学習で複数教科やってみる	③
レベル4	ノートでまとめた後にその範囲 のワークを解いてみる	④
レベル5	まとめや練習の他に問題を解く 量を増やしていく	⑤

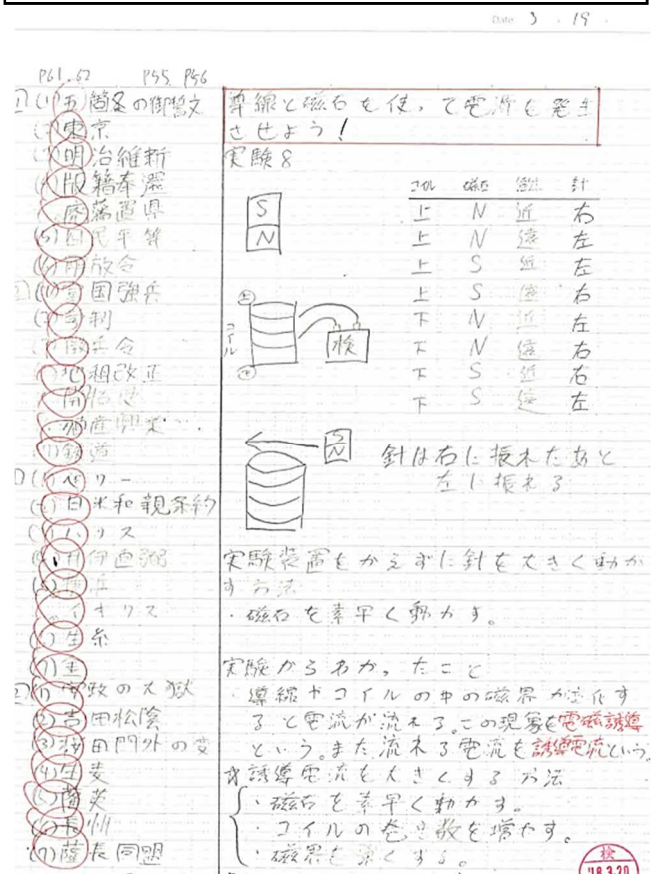
参考② ひたすら練習！

[illegible]

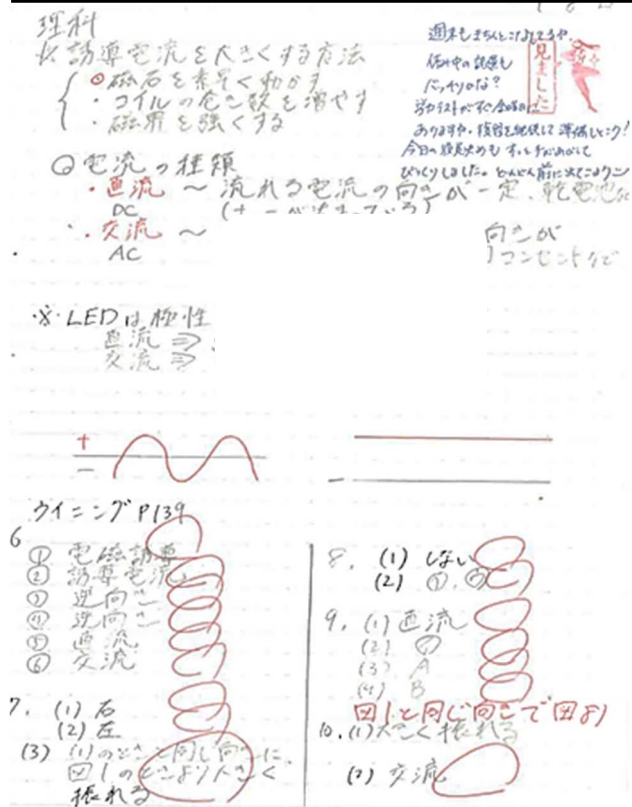
参考① ノートを写す (まとめる)



参考③ 複数教科の取り組み



参考④ まとめからのワーク



参考⑤ 問題の解く量を増やす



6. テスト後も大切

★テストの見直しポイント

Step1

○と×のレベル分け

○なら正解、×なら不正解と単純に考えてはいけません。○の中にも、理解して正解したものもあれば、当てずっぽうで○になったものもある。×も同じく全く理解できていないものもあれば、問題の読み間違いのケアレスミスもある。下の表を参考にチェックしてみよう！

Step 2

○でも直しをする

Step1 で分類した○レベル 2・1、
×レベル 3・2 の見直しを実行しま
す。通常は不正解問題だけ行いま
す。これでは理解出来ないままの単
元や内容が増えていきます。何が
出来て・何が出来ていないかを
知ることが大切です！

Step 3

次回の対策を立てる

○・×のレベル分け

テストまでの計画を立てる

苦手分野は先生に質問！

得意問題は自主学習！

学力 UP!

○レベル		×レベル	
3	解法や内容を完全に理解した	3	全くわからない、空欄などによる不正解
2	感覚に頼った正解や、消去法等の確立に頼った正解	2	問題の読み間違いや計算ミスなどによる不正解
1	当てずっぽうで書いた正解	1	理解していたのに時間がなかったなどの不正解

保護者のみなさまへ

- ・自分で計画的に学習したり、自己調整できるように家族のあたたかい助言や励ましの言葉などの支援をお願いします。
- ・自ら机に向かう姿勢を育て、集中して取り組む習慣を身に付けられるよう、支援をお願いします。